

○ トークセッション登壇者

会社名	登壇者	事業内容	会社 HP
カーボン Carbon エクストラクト Xtract(株) CX Carbon Xtract (福岡市)	代表取締役社長 もりやま てつお 森山 哲雄 	<p><会社紹介></p> <p>私たちは、世界共通の社会課題である地球温暖化の原因となっているCO2を大気中から回収するソリューションの展開を目指しています。九州大学が発明した世界最高性能のCO2ガス透過膜を用いれば、これまで不可能と言われていた「大気中からのCO2回収システムの小型化」と「都市の中での分散的な設置」が出来るようになります。この革新的な技術の早期社会実装を実現する為にも、皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。</p> <p><登壇者紹介></p> <p>2009年3月、筑波大学大学院システム情報工学研究科（修士・工学）を卒業。同年4月に双日株式会社へ入社し、情報システム、金属資源事業（レアメタル権益の投資管理、金属原料のトレード、電子材料関連の新規開拓、スタートアップ投資）などに従事。2021年より同社の脱炭素に関する新規事業開発部隊のマネージャーを担いながら、九州大学等と共にCarbon Xtract株式会社の創業に携わる。2023年6月代表取締役社長に就任。</p>	
ウォーターセル(株) water-cell (新潟県)	Founder ながい ひろとも 長井 啓友 	<p><会社紹介></p> <p>農業生産者向け営農支援アプリ「アグリノート」をはじめとする、オンライン米取引仲介サービス「アグリノート米市場」、営農情報集約ツール「アグリノートマネージャー」の開発・運営を行う。2025年、アグリノートユーザは3万件を超え、農業ICT業界トップクラスのユーザ数を誇る。</p> <p><登壇者紹介></p> <p>2010年、「アグリノート」の開発を開始。2011年、ウォーターセル株式会社を設立し代表取締役に就任。2025年3月役員を退任し、ファウンダーとして活動。現在はサツマイモの栽培・加工事業にも従事。</p>	
(有)池園芸 (福岡市)	代表取締役 いけ すすむ 池 澄 	<p><会社紹介></p> <p>福岡市西区でいちご狩りが人気の観光農園「池いちご園」を運営。Carbon Xtract(株)と実証実験を行っている。</p>	
会社名	ファシリテーター	事業内容	会社 HP
のぞみ 希 JAPAN(株) NOZOMI JAPAN (新潟県)	Founder しらい りょう 白井 良 	<p><会社紹介></p> <p>「SAKE×ART」をコンセプトに、日本酒の価値を再構築する事業を展開している。日本の伝統的な日本酒を現代アートや洗練されたデザインと融合させ、ハイブランド「SHIROKIMONO」を主軸として企画・運営する。日本酒を単なる飲料としてではなく、文化発信のツールとして捉え、特にスーパークリーニング SAKEなどの革新的な商品を通じて、世界市場への本格的な展開を目指している企業である。</p> <p><登壇者紹介></p> <p>連続起業家。4度のバイアウトと、アメリカ上場の経験を持つ。地球規模のスケール感で、未来を創造する起業家として注目される。</p> <p>※Forbes 2024年1月号（日本の起業家 BEST10）にて記事掲載。</p>	

○ ピッティベント登壇企業

会社名	登壇者		事業内容	会社 HP
アイナックシステム(株)  (久留米市)	代表取締役 稻員 重典 いなかず しげのり		<p><会社紹介></p> <p>「自動化の力で、世界をより良く。」人手不足や重労働に悩む農業・工場の現場課題に向け、制御・自動化技術で課題解決を行う開発型企業です。スマート農業では、イチゴ収穫ロボット「ロボツミ」や局所土壤加温ヒーターシステム「AguRo-T」による省エネ技術の実装を推進し、生産性向上と働く環境改善に貢献します。</p> <p><登壇者紹介></p> <p>タンクステン、セラミック製品メーカーでの生産設備の製造、保全業務経験後、半導体製造装置メーカーでの開発エンジニア等を経験し、2008年に創業。</p>	
サクモツ  (福岡市)	代表取締役社長 村上 真哉 むらかみ しんや		<p><会社紹介></p> <p>九州大学農学部作物学研究室の技術シーズを基盤とするアグリバイオスタートアップ。</p> <p>「Nourish Ten Billion, Sustain The Planet.~100億人の食卓と地球の未来を守る次世代食料生産~」を掲げ、①植物体内情報の可視化、②種子から植物の力を最大化、③本当に必要なものを必要なだけ届ける、の3つの技術思想で持続可能な農業を実装する。</p> <p><登壇者紹介></p> <p>2016年に九州大学作物学研究室を卒業後、新卒で総合商社に入社し、貿易業務や新規事業開発に従事。その後、アグリフード業界専門のコンサルタントとして2社経験。2024年に福岡に戻り、2025年12月に起業し現職。</p>	
アルスロン  (福岡市)	代表取締役 CEO 荒木 啓充 あらき ひろみつ		<p><会社紹介></p> <p>株式会社 Arthon は、九州大学・松尾研究室の研究成果を基に設立された昆虫系スタートアップです。畜産害虫サシバエに高い寄生能力を有する在来寄生蜂「キャメロン」を活用し、家畜のストレスや感染症リスクを低減する生物的防除を提供します。キャメロンが自律的に害虫を制御するため農家さんの防除作業負担を軽減し、薬剤に頼らない環境負荷の低い持続可能な畜産の実現を目指します。</p> <p><登壇者紹介></p> <p>製薬会社、国内外バイオベンチャー・大学にてゲノム解析のR&D、事業開発に従事。九大ビジネススクール在職時は、大学発シーズの商業化推進、産官学連携推進に携わる。2025年、Arthon 設立。博士（システム生命科学）</p>	—
プラントフォーム  (新潟県)	代表取締役 CEO 山本 祐二 やまもと ゆうじ		<p><会社紹介></p> <p>当社は水産養殖と水耕栽培を統合した循環型農業「アクアポニックス」をコア技術として、新しい食料生産システムの社会実装を目指しています。当社が提供するシステムでは、主にチョウザメの養殖と葉物野菜やイチゴの栽培を行っており、既に高級食材キャビアの生産と販売に成功しています。現在顧客は全国18カ所に広がっており、世界的に持続可能な農業が求められる中、国内だけでなく海外展開も目指しています。</p> <p><登壇者紹介></p> <p>2003年リクルート営業職。ネット代理店で新規事業開発に従事した後、データセンターのベンチャーを創業。2018年に同センターの余熱を活用してアクアポニックスを行うプラントフォームを創業。</p>	

会社名	登壇者		事業内容	会社 HP
 フィールド ワークス Works FieldWorks (新潟県)	代表取締役 やまぎし かい 山岸 開		<p><会社紹介></p> <p>「日本の農業を持続可能にする」ことを目的に新潟県長岡市にて2023年に創業。代表をはじめ多くのメンバーが学生時代にロボコンに参加し、その技術を応用した農業用電動小型ロボットを開発、製造、販売を行っている。現在は、畑の畝間用の小型除草ロボット、防除ロボットなどを商品化している。</p> <p><登壇者紹介></p> <p>新潟県小千谷市出身。長岡高専、長岡技術科学大学に進学し学生時代はロボコンに長年参加。その後、筑波大学大学院在籍時に株式会社 Fieldworks を創業。現在に至る。</p>	
 ウォーター セル(株) water-cell (新潟県)	Founder ながい ひろとも 長井 啓友		<p><会社紹介></p> <p>農業生産者向け営農支援アプリ「アグリノート」をはじめとする、オンライン米取引仲介サービス「アグリノート米市場」、営農情報集約ツール「アグリノートマネージャー」の開発・運営を行う。2025年、アグリノートユーザは3万件を超える、農業ICT業界トップクラスのユーザ数を誇る。</p> <p><登壇者紹介></p> <p>2010年、「アグリノート」の開発を開始。2011年、ウォーターセル株式会社を設立し代表取締役に就任。2025年3月役員を退任し、ファウンダーとして活動。現在はサツマイモの栽培・加工事業にも従事。</p>	